

施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名 西白井公民館 (西白井複合センター内)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後5時 老人憩の家 午前9時～午後5時 出張所業務 午前8時30分～午後1時、 午後2時～午後5時15分 (開庁日：水・金・日)		
所在地	〒270-1435 白井市清水口1-2-1	併設施設	出張所・児童館・図書室・老人憩いの家・ 地域包括支援センター	
TEL	047-492-1011	FAX	047-401-0282	
メール	shiroihukugou@roukyou.gr.jp			
休館日	月曜日・祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	32台 (内2台障害者専用)	
職員構成 30年4月現在	センター長1名 事務職2名 児童厚生員5名 図書司書4名 夜間管理3名 合計15名			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料 (社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~21:00 付帯設備	
	工芸室	24名	350円	工作机4台・椅子30脚・電気炉
	調理実習室	36名	720円	調理台6台・電子レンジ2台・ ガス炊飯器2台等
	作法室	40名	350円	座卓15台・座布団70枚・将棋
	研修室	30名	350円	机10台・椅子30脚
	視聴覚室	50名	780円	机15台・椅子30脚・ピアノ・テレビ等
	レクリエーション ホール	150名	970円	移動ステージ・卓球台・バドミントン ネット・バスケットゴール等
貸し出し 可能備品	館内のみ貸出 ビデオ・机・椅子			

**平成31年度 公民館等団体別利用状況
(西白井公民館)**

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	34	602	288	3,222	8	153	20	217	3	22	21	154	374	4,370
5	31	457	267	2,993	12	183	19	224	8	384	13	69	350	4,310
6	38	585	289	3,377	8	127	21	280	20	2,033	13	117	389	6,519
7	39	687	298	3,511	9	175	25	299	28	1,590	18	132	417	6,394
8	28	468	247	2,470	7	125	21	248	14	125	40	226	357	3,662
9	47	837	276	2,728	9	136	24	304	18	885	9	39	383	4,929
10	54	893	258	2,630	13	193	21	264	20	322	9	52	375	4,354
11	42	700	270	3,024	8	160	22	258	30	739	13	78	385	4,959
12	33	563	213	2,172	7	146	18	203	27	1,221	18	98	316	4,403
1	43	739	247	2,466	10	143	21	245	13	208	15	75	349	3,876
2	46	921	263	2,682	9	123	23	275	7	199	19	100	367	4,300
3	36	448	162	1,177	1	15	18	144	4	19	71	523	292	2,326
合計	471	7,900	3,078	32,452	101	1,679	253	2,961	192	7,747	259	1,663	4,354	54,402

平成31年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
工芸室	573	4,526	42.3
調理実習室	133	1,512	15.1
研修室	742	8,376	57.9
作法室	655	6,310	48.6
視聴覚室	849	11,768	52.2
レクホール	1,402	21,910	83.2
合計	4,354	54,402	

平成31年度 西白井公民館 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画前期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを支えるまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・みどりが価値を生み出すまちづくり
- ・みどりがつながるまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・地域拠点がにぎわうまちづくり
- ・拠点がつながるまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

平成31年度 西白井公民館 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・人々が新たに出会い、発見して、喜びを実感できる事業・講座の運営に努める。
- ・地域の人々のやりたいことを実現できる場所にする。
- ・住民が学びあい、交流しあい、連帯しながら、地域をつくる主体となっている実感を持てる場としていく。

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育ての不安を解消し、安心していられる場所を提供する。 ②同世代の保護者同士の交友関係を広げる環境をつくる。 ③家庭内でお互いに協力し、家族としての役割を果たすことを学ぶ。
青少年教育 (2)	①性質の異なった人たちとの交流から、個性を認め合う人物となる。 ②学習・活動を通して、技術と学ぶことそのものの楽しさを実感する。 ③各活動を通して、豊かな体験・経験を重ねる。

成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する。 ②体力・精神力を向上させ、豊かな社会生活を送れるようにする。 ③性別に関係なく活躍できる社会について考える機会をつくる。 ④学びを実践にいかし、地域のリーダーとなる人物を育てる。
団体育成 (4)	①自ら得た学びを地域で発揮して、新たなメンバーを増やす。 ②地域に出て、人や地域とつながる核となる人材を育成する。

(3) 平成31年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・子育て支援のなかで、男女共同参画を啓発・推進した。
- ・地域で活躍している団体と協力して講座・事業を実施した。
- ・2年目となる「にしふくマルシェ」で西白井駅前の活性化・交流を図った。
ふるさと産品・農産品など販売を通して、地域の魅力を発見できる場を設けた。

2. 西白井公民館 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数	
家庭教育 (1)	おやこ広場	①②③	10回	296人
	レッツクッキング	①②③	3回	延べ64人
青少年教育 (2)	キッズクラブ	①②③	8回	15人
	親子で！科学体験教室（前期）	②③	3回	23組44人
	親子で！科学体験教室（後期）	②③	2回	16組30人
	子ども将棋教室	①②③	9回	17人
	夏休み工作教室	①②③	1回	16人
	アートで遊ぼう	②③	1回	14人
	書き初め練習会	②③	1回	20人
成人教育 (3)	ウォーキング講座	①②	3回	17人
	男女共同参画講座 パパのパパッと簡単料理	①③④	1回	6組21人
	初心者向けスマホ講座	①②	1回	14人
	健康料理教室	①②	1回	18人
	節分のデコ巻きずし教室	①②③	1回	16人
	エンジョイクッキング	①②	1回	20人
	脳活性化ゲームを楽しもう	①②④	3回	6人
団体育成 (4)	手しごと倶楽部	①②	5回	延べ48人
	初心者のためのウクレレ講座	①②	2回	延べ28人

(2) 講座以外に行った事業

- ・にしふくマルシェ
- ・ロビーコンサート
- ・シニアのための健康講座
- ・第3回梨の実コンサート
- ・西白井複合センターまつり
- ・ともしびの夕べin白井
- ・防災講演、講習会
- ・夏休みスペシャルスタディ
- ・レクホール開放
- ・子ども映画会
- ・懐かしの映画会

(3) 情報の提供

- ・センターだよりの発行
- ・ホームページ、ブログへの記事掲載
- ・広報しろいへの掲載
- ・自主事業ポスター
- ・利用者の活動ポスター
- ・ミニコミ誌への記事掲載

(4) 施設の提供

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・市民活動発表の場として、ロビーの貸出（作品等の展示）
- ・サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出

講座・学級学習プログラム

講座名	おやこ広場	
対象	子育て中の保護者	
募集人数	延べ 310人	参加人数 延べ 296人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転居してきた家庭や核家族が多く、子育ての悩みや西白井地域についてわからない事があったりも気軽に聞くことができない。 ・インターネット等の普及により簡単に情報を得る事が出来るようになったが、どの情報が正しいのか、自分の子育てに合った情報なのか判断しづらくなっている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各会テーママを決めて、季節を感じる制作物を作成し、共通の話題で子育て中の保護者が話し合える場を作る。 ・同世代の子どもを持つ保護者同士の横のつながりを持ち、情報交換を行えるような場を作る。 	
学習期間	平成31年4月～令和2年2月	回数 10回
学習場所	児童館学習室、遊戯室	
予算	総額： 4,750円 ※うち参加者負担金： 4,400円 内訳：講師料 0円 その他の事業費 4,750円	総額： 6,425円 ※うち参加者負担金： 4,400円 内訳：講師料 0円 その他の事業費 6,425円
講師	児童館職員	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加者が場になじめるよう、会話の橋渡しをしていく。 	
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前申し込みをなくとも気軽に参加できるよう配慮した。 ・季節ごとの工作や運動遊び等を企画し、参加者同士楽しく交流する事ができた。 ・年間を通して季節の行事に対する意識を持たせたとする。作る楽しさを味わい、お互いの会話の場となった。 	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	4月18日	こいのぼり制作 参加人数10組 23人	児童館職員	事業の行事に対しての季節の作りや運動・ゲームに参加して交流を図り、参加者同士自由に話し合える場を作る。
2	5月23日	手型アートのチャレンジ 参加人数 16組 38人		
3	6月20日	障害物競走で身体を動かそう 参加人数 13組 27人		
4	7月18日	簡単サシェ作り 参加人数 10組 21人 自己負担金350円		
5	9月19日	おつきみ制作 参加人数8組19人		
6	10月18日	ハロウィンパーティー 参加人数 19組40人 自己負担金100円		
7	11月21日	まつぼっくりツリ作り 参加人数 17組37人		
8	12月19日	クリスマスパーティー 参加人数 21組45人 自己負担金100円		
9	1月23日	パレンタインカード作り 参加人数 9組21人		
10	2月20日	ひなまつり制作 参加人数 11組25人		

講座・学級学習プログラム

講座名	レッツクッキング	
対象	小学生とその保護者	
募集人数	延べ58人	参加人数 延べ64人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている。</p> <p>・安全面を気にするあまり、包丁等を家庭で扱う機会が減っている。</p> <p>・五感を使いながら自分自身で調理に携わることで、作る楽しさやみんなで食べた時のおいしさを感じ、食に対する興味関心を高めるようにする。</p> <p>・子どもたちも調理に取り組むことで、料理や栄養に対する関心を高める。</p>	
学習期間	令和元年5月～令和元年12月	回数 3回
学習場所	調理実習室	
予算	総額： 24,500円 ※うち参加者負担金： 14,500円 決算 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 14,500円	総額： 24,493円 ※うち参加者負担金： 14,500円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 14,493円
講師	日本製粉株式会社クッキングパートナー佐藤加代子さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンや換気扇などの調節をし、調理環境を整える。 ・蒸し器やオーブン等を使うので子どもたちが火傷しないよう目を配る。 ・交代で作業するときや後片付けをするときは、全員ができるよう声をかける。 	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで作業するときは、協力して行うことができた。 ・親子講座では、親子だけでなく祖母と孫での参加もあり、とても楽しんでパン作り体験できた。家でもまた作りたいと多くの方におっしゃっていた。 ・生地を捏ねたり叩いたり、どのような形にするかを考えて作ることに楽しかったとの感想があった。 ・先生の説明が分かりやすく、次回も参加したいとお言葉をいただいた。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・7/28開催が台風接近の関係で8/25に変更になった。 ・3/14開催予定だったアイシングクッキーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止にした。 	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月25日	肉まんを作ろう 募集人数 10人 参加人数 10人 自己負担金 250円	児童館職員	手作りする事により、食への関心をもってもらう。友達と協力して作業する楽しさを知る。
2	7月27日	親子で動物パンを作ろう 募集人数 12組24人 参加人数 12組27人 自己負担金 500円	佐藤先生	粉からパンを手作りすること、食への関心を持つてもらおう。親子で作ること、で絆をより深めてもらおう。
3	12月21日	クリスマスツリーパンを作ろう 募集人数 12組24人 参加人数 12組27人 自己負担金 500円		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	5月11日	はじめましての会 ～名札と卓上カレンダー作り～ 参加人数 15人	児童館職員	コミュニケーションを図りながらお互いを知り、異年齢との交流を図る。
2	6月8日	布張りフォトフレーム作り 参加人数 13人	児童館職員	感性を働かせながら、つくくりだす喜びを味わう。
3	7月13日	ランチョンマット作り 参加人数 15人	児童館職員	感性を働かせながら、つくくりだす喜びを味わう。
4	9月14日	生地からピザ作り 参加人数 14人	児童館職員	参加者と協力し合い、作る楽しさと食べる楽しさを味わう。
5	10月19日	白井で働く人にインタビュー 参加人数 13人	児童館職員	地域の様々な場所に関心を持ち、親しみや愛着を持つ。
6	11月16日	ありのみお話し会&センターまつり準備(ポスターと装飾作成) 参加人数 12人	ありのみお話し会 児童館職員	様々な物語を集中して聴く。センターまつりに向けて友達と協力し合いながら作業を行う。
7	12月2日	センターまつりお部屋さん体験 参加人数 14人	児童館職員	センターまつりに参加することにより、地域交流を深める。
8	12月14日	おわかれ会 参加人数 14人	児童館職員	友達との別れを惜しみ、通年の活動ができた達成感を味わう。

講座・学級学習プログラム

講座名	キッズクラブ	
対象	小学生	
募集人数	15人	人数 15人
講座・学級開設の課題と目標	<p>講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現場では同じ年齢の子どもたちと集団生活を送ることが多く、異年齢の児童と交流する機会は少ない。 ・小学校を超えて児童同士が交流する機会が少なく、地域についての意識が薄い。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の児童たちとの交流の場を設ける。 ・小学校を超えて、地域のイベントに参加することで自分の暮らしている地域について知る機会を作る。 	
学習期間	令和元年5月～令和元年12月	回数 8回
学習場所	学習室	
予算	総額： 22,500円 ※うち参加者負担金： 1,500円×15人 決算 内訳：講師料 0円 その他事業費 22,500円	総額： 22,203円 ※うち参加者負担金： 1,500円×15人 内訳：講師料 0円 その他事業費 22,203円
講師	ありのみお話し会、児童館職員	
参加者等への指導・援助方法	参加者等への交流に職員が橋渡しをする。子どもたち自身からアイデアを引き出せるよう、見守り、必要であれば手を貸していく。	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節によって行事を計画。体験を通して仲間との関係を深め行動する事ができた。 ・今後も子どもたちが楽しく活動できる内容を考え実施したい。 	
備考		

講座・学級学習プログラム

講座名	親子で！科学体験教室（前期）																				
対象	小学生とその保護者																				
募集人数	30組60人 参加人数 23組44人																				
講座・学級開設の課題と目標																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の授業では時間や機器の制限により子ども達が実際に実験を行う機会が失われがちである。 ・科学は身近なものではなく、難しいと感じている子どもたちが多い。 ・親子で科学について考え、話し合う機会が少ない。 																				
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が実際に機器を使い、実験を行う機会や楽しさを多く持つようになる。 ・身近な材料や題材を使い、見ている楽しい仕掛けのある実験を行うことで、科学学習に対する興味を高められるようにする。 ・親子で科学について話し合う機会を持つような身近な課題を提供する。 																				
学習期間	令和元年5月～令和元年9月 回数 3回																				
学習場所	多目的室																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>総額:</td> <td>54,000円</td> <td>総額:</td> <td>51,892円</td> </tr> <tr> <td>※うち参加者負担金:</td> <td></td> <td>※うち参加者負担金:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,800円×30組</td> <td>決算</td> <td>1,800円×23組</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳:講師料30,000円</td> <td></td> <td>内訳:講師料30,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事業費24,000円</td> <td></td> <td>その他事業費21,892円</td> <td></td> </tr> </table>	総額:	54,000円	総額:	51,892円	※うち参加者負担金:		※うち参加者負担金:		1,800円×30組	決算	1,800円×23組		内訳:講師料30,000円		内訳:講師料30,000円		その他事業費24,000円		その他事業費21,892円	
総額:	54,000円	総額:	51,892円																		
※うち参加者負担金:		※うち参加者負担金:																			
1,800円×30組	決算	1,800円×23組																			
内訳:講師料30,000円		内訳:講師料30,000円																			
その他事業費24,000円		その他事業費21,892円																			
講師	つくばエキスポセンター講師 加地浩成さん、堀本能之さん、西口重雄さん																				
参加者等への指導・援助方法	実験器具、材料の準備、配置などの準備作業が多いため滞りなくスタートできるよ全体のサポートをする。名称が難しい実験でもイメージがしやすいように、次回予告の説明をわかり易く行った。																				
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	同講師による講座開催は5年目となり、続けてお申込み下さる参加者は講師に親しみをもち受講している様子が見える。実験目的が以前行っていた講座と似ることもあるが、手法を変えることで、飽きがないよう心がけている。継続的に受講していただく方が増えるよう、低学年クラスの方にも高学年クラスの方の講座の説明等していきたい。																				
備考																					

学習報告

No	月日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月12日	① 見えない空気を科学しよう ② ヘロンの噴水を作ろう 参加人数23組36人	加地先生 堀本先生	科学実験を行うことで、科学に対する興味を高める。
2	7月14日	① 「あぶりだし」で遊ぼう ② 絞り染め～色の変化を楽しむ 参加人数19組36人	加地先生 堀本先生	
3	9月8日	① アゴラの円盤で磁石の働きを知ろう ② 色々な方法で電気を作ろう 参加人数18組34人	西口先生 堀本先生	

講座・学級学習プログラム

講座名	親子で！科学体験教室（後期）	
対象	小学生とその保護者	
募集人数	30組60人	参加人数 16組30人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の授業では時間や機器の制限により子ども達が実際に実験を行う機会が失われがちである。 ・科学は身近なものではなく、難しいと感じている子どもたちがいる。 ・親子で科学について考え、話し合う機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が実際に機器を使い、実験を行う機会や楽しさを多く持つようになる。 ・身近な材料や題材を使い、見ている楽しい仕掛けのある実験を行うことで、科学学習に対する興味を高められるようにする。 ・親子で科学について話し合う機会を持つような身近な課題を提供する。 	
学習期間	令和元年11月～令和2年1月	回数 2回
学習場所	多目的室	
予算	総額： 54,000円 ※うち参加者負担金： 1,800円×30組 決算 内訳：講師料30,000円 その他事業費24,000円	総額： 29,578円 ※うち参加者負担金： 1,200円×16組 内訳：講師料 20,000円 その他事業費 9,578円
講師	つくばエキスポセンター講師 加地浩成さん、堀本能之さん	
参加者等への指導・援助方法	・実験器具、材料の準備、配置などの準備作業が多いため滞りなくスタートできるように全体のサポートをする。 ・名称が難しい実験でもイメージがしやすいように、次回予告の説明をわかり易く行なった。	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	・同講師による講座開催は5年目となり、続けてお申込み下さる参加者は講師に親しみを持って受講している様子が伺える。 ・実験目的が以前行なった講座と似ることもあるが、手法を変えることで、飽きがこないよう心がけている。継続的に受講していただく方が増えるよう、低学年クラスの方にも高学年クラスの講座の説明する等していきたい。	
備考	3月8日に予定されていた第3回講座は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため取り止めとなった。	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	11月10日	① 色々なアロマキャンドルを作ろう ② 身近な材料で酸素と水素を作ろう 参加人数14組26人	加地先生 堀本先生	科学実験を行うことで、科学に対する興味を高める。
2	1月12日	「低学年・高学年共通」顕微鏡でミクロの世界を観察しよう 参加人数14組26人	加地先生 堀本先生	

講座・学級学習プログラム

講座名	夏休み子ども将棋教室	
対象	小学生・中学生	
募集人数	30人	参加人数 17人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 将棋を学びたい子どもの居場所づくりと、将棋を多くの人に知ってもらいたい大人の多世代交流をする場が少ない。 学ぶ楽しさを知ると、同時に社会性を身に着ける。 地域のつながりを深め、将棋という文化の普及と伝承に努める。 	
学習期間	令和元年7月～令和元年8月	回数 9回
学習場所	作法室	
予算	総額： 500円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 500円	総額： 597円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 597円
講師	白井将棋愛好会	
参加者等への指導・援助方法	参加者、講師が心地よく対局できるように環境を整える。	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 初心者から上級者まで、幅広い層が集まった。 初めての子は将棋の駒の動かし方から学び、理解を深めたところで対局に挑む。 上級者は参加者同士で力比べをして楽しんでいった。 家族としか対局したことがない子も、他の人と楽しく将棋を学べた。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 白井将棋愛好会との共催事業 伝統文化親子教室事業 	

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月20日	・オリエンテーション 将棋の歴史と礼儀・作法の説明 指導対局 参加人数12人	白井将棋愛好会	将棋への理解とその楽しさを知ってもらう。 多世代交流を深める。
2	7月21日	・指導対局 ・力量別に指導 参加人数17人		
3	7月27日	・手筋・駒落ち定石・詰将棋などの指導対局 ・子ども達同士の対局 参加人数6人		
4	7月28日	・手筋・駒落ち定石・詰将棋などの指導対局 ・子ども達同士の対局 参加人数14人		
5	8月3日	・手筋・駒落ち定石・詰将棋などの指導対局 ・子ども達同士の対局 参加人数5人		
6	8月4日	・手筋・駒落ち定石・詰将棋などの指導対局 ・子ども達同士の対局 参加人数13人		
7	8月10日	・手筋・駒落ち定石・詰将棋などの指導対局 ・子ども達同士の対局 参加人数6人		
8	8月17日	・手筋・駒落ち定石・詰将棋などの指導対局 ・子ども達同士の対局 参加人数3人		
9	8月18日	・将棋大会 ・参加賞などの配布、記念撮影 ・修了式 参加人数8人		トーナメント形式で、8日間の取り組みの成果を試す。

講座・学級学習プログラム

講座名	夏休み子ども工作教室		
対象	小学生		
募集人数	12人	参加人数	16人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・時間をかけた工作に、集中力が保てない子や難しいと感じている子どもたちがいる。</p> <p>・いつもとは異なる複雑な工作に挑戦し、一つの物を作り上げる達成感、楽しさを実感してもらおう。</p>		
学習期間	令和元年7月	回数	1回
学習場所	工芸室		
予算	総額： 9,200円 ※参加者負担金： 350円×12人 決算 内訳：講師料 5,000円 材料費 4,200円	総額： 10,950円 ※参加者負担金： 350円×17人 内訳：講師料 5,000円 材料費 5,950円	
講師	近藤 雅昭先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・工作の様子をみて声掛けをする。 ・講師の補助をする。 ・子ども達が講師の説明をよく聞くように声を掛ける。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のからくり工作は、昨年同様、作りが複雑ということで、対象を3年生以上とし、スタート時間を9時半からとした。 ・大山口中学校のボランティア部の生徒さん8人に協力してもらい、小学生には難しい工程(千枚通しで穴をあける工程、カッターで窓を作る工程)や、わからないところを手伝ってもらった。 ・中学生の補助があったおかげで、全員が時間内に完成させることができ、自分の作品に満足して帰宅した。 ・来年度も開催予定なので、時間内で完成できる作品を講師と話し合いたいと思う。 		
備考	当日病欠者1人に、後日、学習室にて、近藤先生から工作指導をしていただいた。		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	7月30日	からくり工作「ゆらゆらUFO」 参加人数 16人	近藤先生	・集中力を身につける。 ・一つのものを作り上げる達成感を味わう。

講座・学級学習プログラム

講座名	アートで遊ぼう		
対象	小学生		
募集人数	6人	参加人数	14人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの自由な発想や感性で表現する機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら芸術活動の様々な体験を通して、自己肯定感を培う。 		
学習期間	令和元年7月	回数	1回
学習場所	学習室		
予算	総額：1,800円 ※うち参加者負担金：300円×6人 決算	総額：4,200円 ※うち参加者負担金：300円×14人	
講師	河上 さゆりさん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> 作品を肯定的に捉えほめることを心がけ、各々の個性を引き出す。 子ども達の自由な発想を大切にす。 		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> パステルを削り、指で描く「パステルアート」を行った。応募人数が多かったため、午前の部と午後の部を開催した。 それぞれ個性的な作品を作り上げることができた。作品作りに没頭し、集中力も高められた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 3月21日開催予定だった草木染めは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中止にした。 		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	7月24日	キッズパステル 指でくじらの絵を塗ろう 参加人数 14人 自己負担金 4,200円	河上先生	パステルを削り、指で直接色を塗ること で、普段やらないこ とをして脳を活性化 させる。どんな色で 塗って完成させるか 想像して、考える力 を付ける。みんなの 完成作品を見て、自 分の表現を大切にし てもらう。

講座・学級学習プログラム

講座名	書初め練習会	
対象	小学生	
募集人数	20人	参加人数 20人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の冬休みの宿題として、書初めがあるが、どのように書いたら良いのかわからないという児童がいる。 ・地域住民と子どもたちの交流する場が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から書道に取り組んでいるサークルの講師や会員の指導の元、書き初めを行うことにより、書道に対する心構えを学ぶ。 	
開催日	令和元年12月	回数 1回
学習場所	遊戯室	
予算	総額： 1,620円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 1,620円	決算 総額： 1,620円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 1,620円
講師	田中恵粋先生、親和会書道部：経田隆志さん、深沢房子さん 山内スミ子さん、橋本文代さん、佐藤英子さん 岡戸記代子さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者さんが過ごしやすい雰囲気をつくる。 ・講師の先生方が活動しやすい環境を整える。 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年好評である書き初め練習会は今年も定員の20人を超える申込みがあった。 ・20人と大変多い人数ではあったが、講師と補助講師の複数名による指導のお陰で、個々にしっかりと指導していただいた。名前をしっかりと書ける様にと手本を書いてくださり、全体の完成度が高まった。 ・書道に静かに向き合う落ち着いた時間は大変貴重であると感じた。 ・今回の練習会は、子どもたちの集中力が素晴らしく、15分前に解散することができ、先生方からもとてもいい練習会だったと言われた。 	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	12月26日	冬休みの宿題である、書き初めの練習。 参加人数 20人	田中先生、 親和会書道部	学習初めの練習により書道に対する心構えを学ぶ。

講座・学級学習プログラム

講座名	ウォーキング講座	
対象	一般	参加人数 23人
募集人数	30人	
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、運動をしない方にとって、ハードな運動に取り組むのは難しい。 ・運動や学習などで似た目標を持つ人同士が知り合う機会が少ない。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな人でも取り組みやすいウォーキングに取り組むことによって、運動する習慣を作る。 ・参加者同士で交流し合いながら、健康な体を作る。 	
学習期間	令和元年10月～令和元年11月	回数 3回
学習場所	レクホール	
予算	総額： 36,000円 ※うち参加者負担金： 1,200円×30人 決算 内訳：講師料 20,000円 その他事業費 16,000円	総額： 28,932円 ※うち参加者負担金： 900円×17人 算 内訳：講師料 17,500円 その他事業費 11,432円
講師	駒崎 優さん	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・歩き回るのに十分な広いスペースを確保する。 ・無理な運動にならないよう、休憩や給水時間を十分に取る。 	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、おのおの日常のウォーキングをし、次に、美しい歩き方と健康ウォーキング10ヶ条の説明を受けながら実践をした。 ・最終回には、皆さん見違える程歩き方が改善されていた。 ・参加者は熱心に楽しそうに取り組んでいた。 ・講座終了時のアンケートでは、大変参考になった。もっと早く知りたかった。歩くことが楽しくなった、などの感想を頂き、本年も講座を開催した意義は大きかったと自負している。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日（2回目）について、午前中の雨が午後から急激に台風並みに発達したため中止を決めた。判断に時間を要し、参加者への連絡が遅れることになった。次回への反省としたい。 	

学習報告

No	月 日	事業内容・方法等	講師	事業のねらい
1	10月18日	美しい歩き方とウォーキング10ヶ条の説明と実践 参加人数 14人	駒崎先生	日頃の運動不足を解消するとともに地域のコミュニケーションをはかる歩き方を通して、いつまでも健康な体を作る。
2	11月1日	肩こり、腰痛、ひざ痛改善のストレッチの実践 参加人数 15人		
3	11月8日	階段の昇降時のつま先、かかとの使い方、内転筋を鍛えるストレッチの実践 参加人数 14人		

講座・学級学習プログラム

講座名	男女共同参画講座 パパのパパッと簡単料理&子育てサロン	
対象	市内在住・在勤者	
募集人数	8組(家族)	参加人数 6組21人(保育3人)
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が社会で活躍するために、男性の家庭への参加の関心を高める必要がある。 ・普段料理をしていない男性などは、どのように料理を作たらよいかわからない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママには子育ての悩みを話す場をつくり、息抜きの時間をつくると共に、パパの料理ができる姿を見て、感動してもらえようにする。 ・パパと子どもと一緒に料理をつくり、パパの輝ける機会をつくる。料理ができる事で自信をつけてもらい、家庭でも活躍してもらえようにする。 	
学習期間	令和元年9月28日	回数 1回
学習場所	調理実習室、作法室	
予算	総額：10,200円 ※うち参加者負担金：9,000円×8組 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 8,000円	総額：17,316円 ※うち参加者負担金：9,000円×6組 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 12,316円
講師	千葉ニュータウン友の会 眞部京子さん 他7人	
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員が参加できるよう声かけする。子どもにできる内容とパパにやってもらいパートを予め考えて、切り分けができるよう準備を進める。 ・保育を申し込んだ方が試食をしやすいよう声かけする。 	
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生未満の子どもも料理に参加したいとの事で踏み台を用意して臨んだ。 ・父親は1人を除いて料理をしない人たちの参加となったが、親子で協力して材料を切ったりしていた。 ・できあがる頃に母親も子育てサロンから調理室に向かったが、配膳が済むまでは手を出さず、父子を見守った。 ・子ども達の「おいしい！」の声に、両親とも笑顔がこぼれた。 ・今回参加してくれた家族の大部分が児童館来館時からの誘いなので、更に幅広く来てもらう為に、広報の仕方に工夫が必要である。 	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	9月28日	父子のメキシカンチキン、野菜と魚介のマリネ、アボカドディップの調理と子育てサロン参加人数 6組21人	眞部先生 千葉ニュータウン友の会	父親の家庭への参加を促すとともに、母親の子育てへの悩みを解消する。

講座・学級学習プログラム

講座名	初心者向けスマホ講座		
対象	市内在住の方		
募集人数	30人	参加人数	14人
講座・学級開設の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会に伴い、家族でスマホの操作を習うのが難しい。 ・「人生100年時代」をより便利で安全に過ごせるように、サポートが求められる。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族間や知人での連絡にLINEが用いられるように学習し、繋がる便利さや楽しさを知る。 ・活用の幅が広がるように、プロ意識を持った講師の方に分かり易く教えて頂く。 		
学習期間	令和2年2月	回数	1回
学習場所	研修室		
予算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 1000円	決算 内訳：講師料 0円 その他事業費 510円	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 510円
講師	スマートフォンアドバイザー 高橋さおり先生 他4人		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな指導が出来るように、複数の講師の方とレッスンを進めていく。 ・スマートフォンを持っていない方も学べるように、貸出機を用意する。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・人気の講座で30人募集に対して76人の応募があった為、第三者の利用者の方を選んで頂く抽選を行い30人に絞った。 ・初めに安全に使用して頂く為に設定の仕方や友達追加などを学習する。 ・設定後はメッセージのやり取りを利用者同士で行ったり、知っていると便利な基本操作を幅広く教えて頂くなどし、気持ちを伝えられるスタンプや写真の送受信の方法などを教えて頂いた。 ・スマートフォンを所有している方はご自身のスマートフォンで実際に操作したので、今後直ぐに実践出来ると思う。 ・LINEはメッセージの遣り取りが気軽に出来るので、この機会を活かしてご家族や知人のコミュニケーションの幅を広げて欲しい。 		
備考	2回目 コロナウイルス対策の為中止		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE設定 ・友だち追加 ・メッセージの送受信 ・スタンプの送受信、追加 ・写真の送受信 参加人数 14人	高橋先生 他4人	安全に使用出来るように、使い方や設定のポイントを習う。

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	11月22日	血管若返り法 きのこ入り和風おろしハンバーグ、水菜の白和えサラダ、わかめと玉ねぎのみそ汁、柿 参加人数 21人	石川先生	共に作り共に食べる ことで楽しく交流 し、健康に過ごすた めの食生活を学んで もらう。

講座・学級学習プログラム

講座名	健康料理教室～血管若返り法～		
対象	一般		
募集人数	16人	参加人数	18人
課題・目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族化、高齢化等により地域住民の関わり合いが希薄になっている。 ・高齢化等社会の変化に対応した新しい食生活の情報の必要性を感じる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共に作り共に食べることで楽しく交流し、健康に過ごすための食生活を学んでもらう。 		
学習期間	令和元年11月	回数	1回
学習場所	調理実習室		
予算	総額： 8,000円 ※うち参加者負担金： 500円×16人 決算 内訳：講師料 0円 その他事業費 8,000円	総額： 9,056円 ※うち参加者負担金： 500円×21人 内訳：講師料 0円 その他事業費 9,056円	
講師	白井市役所健康課栄養士 石川佳奈さん、 食生活改善推進委員 田中さん、増田さん、山形さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の方々が準備しやすいようにあらかじめ席を決めておく。 ・講師の説明を聞いて、一品一品作業を進めてもらうように促した。 		
講座・学級開設の成果(課題や目標に対して)及び総括	<ul style="list-style-type: none"> ・血管若返り法をテーマに開催した。 ・まずは30分間の講話を行い、血管の働きや、血管の老化を防ぐ食品について説明を伺った。 ・参加者からはとてもわかり易い講義で大変勉強になったという声を頂いた。 ・調理実習は推進員さん指導の下、一品一品丁寧に行った。皆さん熱心に取り組んでおられた。 ・試食は研修室に移動し、班ごとに向かい合わせにセッティングした。共食を楽しみながら食材についての質問も出て、会話が弾み和やかに交流ができた。 		
備考			

講座・学級学習プログラム

講座名	節分のデコ巻きずし教室		
対象	一般		
募集人数	16人	参加人数	16人
講座・学級開設の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米食離れが進み、今後も拍車がかかると予想される。 ・伝統料理や郷土料理が次世代に伝えられる機会が減っている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統料理への関心を高め、家庭での実践へ繋げていく。 ・千葉県の郷土料理である太巻き寿司を手軽に作り、子供も大好きな巻き寿司を通して、米食を次の世代へ継承出来るように図る。 		
学習期間	令和2年1月	回数	1回
学習場所	調理実習室		
予算	総額：21,000円 ※うち参加者負担金：1000円×16人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 16,000円	総額：21,000円 ※うち参加者負担金：1000円×16人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 16,000円	決 算 講師料 5,000円 その他事業費 16,000円
講師	日本デコずし協会認定マイスター 木村恭子先生		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・石臼で手を洗う事など、衛生面での指導を徹底する。 ・皆で一斉に調理を行う為、当日手際よく進められるように使用道具は共同ではなく人数分用意し配置する。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・節分に鬼と梅の2本の飾り巻き寿司を実習し作った。 ・鬼の寿司は赤鬼と青鬼の2種類の寿司が1本で作れ、パーツ作りでは苦戦しながらも周りの人に聞いたりして、真剣に学習していた。 ・梅の寿司は簡単に作る事ができ見栄えも良いので、今後家庭でも手軽に作って頂きたい。 ・孫に作ってあげたいという声があり、苦戦していた方も楽しかったと感想を言ってくれた。 ・この機会を活かして頂き、日本伝統の巻き寿司を伝えたい。 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	1月31日	赤鬼&青鬼の巻き寿司と梅の巻き寿司の実習 参加人数 16人	木村先生	千葉県の郷土料理である太巻き寿司を手軽に作って頂き、子供も大好きで「見せる楽しみ」を兼ね備えた巻き寿司を通じて米食を次の世代へ継承できるように図る。

講座・学級学習プログラム

講座名	エンジョイクッキング	
対象	一般	
募集人数	18人	参加人数 20人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・ 外食の利用が増加し、家庭での調理が減少している現在、様々な調理法を体験・習得する機会を設ける事が望まれる。</p> <p>・ 経験に基づく判断が必要になる調理では、実際に揚げ調理を行った経験が役に立つ。</p> <p>目標</p> <p>・ 貴重な職人技、プロの調理を目の前で見える事により、日本食の食文化にもっと関心を持つようにする。</p> <p>・ 天ぷら調理の特性を理解し、自らの食生活に取り入れる能力を養う。</p>	
学習期間	令和元年11月	回数 1回
学習場所	調理実習室	
予算	総額： 16,700円 ※うち参加者負担金： 6,500円×18人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 11,700円	総額： 18,000円 ※うち参加者負担金： 6,500円×20人 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 13,000円
講師	高橋弘明さん	
参加者等への指導・援助方法	・ 怪我しないように、油の扱いに注意するよう声掛けを行う。 ・ 初めに説明を行い、どの調理を行うかは参加者を選択してもらう。	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	・ 元プロのシェフから調理のコツを教わる事が出来たとあって、多くの受講希望者があった。 ・ 実習する作業は参加者を選択して決めてもらったが、興味のある調理を選択していた為、意欲的に皆で力を合わせて行っていて、手際も良かった。 ・ 講師の先生には実践の中でポイントを教えて頂き、知識が増えたという意見や家でも出来るので参考になったという意見を頂き、有意義な経験が出来たと思う。	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	11月7日	海老天丼のコツを学ぼう 海老天丼・煮物・お新香・お味の調理 参加人数 20人	高橋先生	・ 全員に天ぷらを揚げる体験をしてもらう。 ・ 日本食の調理と食文化について関心を持って実習に取り組み、食生活をより良くする。

講座・学級学習プログラム

講座名	脳活性化ゲームを楽しもう		
対象	一般		
募集人数	12人	参加人数	6人
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ地域に住む方々であっても、きっかけがなければ、お互いに交流する機会は少ない。 ・高齢者の増加に伴い、自助努力で元気に暮らしてもらええる生活力が求められている。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が一緒に行うゲームやその後のお茶会を楽しむことで、交流を図る。 ・笑いをもたすような、楽しいゲームによって脳を活性化させる。 		
学習期間	令和元年6月～令和元年7月	回数	3回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 24,000円 ※うち参加者負担金： 1,500円×12人 内訳：講師料 15,000円 その他事業費 18,000円	総額： 25,524円 ※うち参加者負担金： 1,500円×6人 内訳：講師料 15,000円 その他事業費 10,524円	決 算
講師	佐藤 正一さん		
参加者等への指導・援助方法	<ul style="list-style-type: none"> ・無理をしないようにできるところまでで良い事を事前に伝える。 		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームによる脳の活性化はもちろん、参加者同士の交流を大切にしたいという講師の意見を聞き入れ、開催時には毎回ゲーム後にお茶会を開催した。 ・毎回の感想を話しながら、お茶やお菓子を楽しむと、緊張がほぐれリラックスしたムードになっていた。 		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	6月8日	自己紹介・夢旅行、指遊び 参加人数 6人	佐藤先生	脳を活性化させるゲームやお茶会を楽しむことで交流する。
2	6月22日	夢旅行、言葉遊び 参加人数 6人		
3	7月6日	夢旅行、指遊び 参加人数 5人		

講座・学級学習プログラム

講座名	手ごと倶楽部	
対象	一般	
募集人数	延べ48人	参加人数 延べ42人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・今まで体験したことのない手芸に取り組みたい人が多い。</p> <p>・手芸作品に取り組み完成させることは、達成感を得ることができ生活の活力となるが、1人で作成すると挫折しやすい。</p> <p>・地域の高齢化により、各サークルが縮小する傾向にある。</p>	
目標	<p>・新たな手芸作品の技術を習得し、作る喜びを得る。</p> <p>・参加者同士で交流し合いながら作品づくりに取り組みることにより、作品を完成させる楽しみを得る。</p> <p>・縮小傾向にある手芸サークルの活性化を手助けする。</p>	
学習期間	令和元年5月～令和元年11月	回数 5回
学習場所	工芸室、研修室	
予算	総額：40,000円 ※うち参加者負担金 35,000円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 35,000円	総額：28,000円 ※うち参加者負担金 23,600円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 23,600円
講師	河上小百合先生、山岸英子先生、蓮村智恵先生	
参加者等への指導・援助方法	・参加者等によって作業の進行具合が変わるので、全員に対応できるように配慮する。 ・参加者全員が楽しい時間を共有できるように気を配る。	
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	・今年度の講座は、複合センターの活動団体の協力のもと開催となった。 ・初めての手芸は一人で言うにはハードルが高く、教わる場所を希望する意見が多い。その中で、数種類の講座を開催することで、新たな技術の知識習得と、身近な場所での活動場があることを知ってもらったことができた。	
備考		

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講 師	学習のねらい
1	5月14日	パステル和 (NAGOMI) アート 春のイラスト 募集人数 6人 参加人数 6人 自己負担金 500円	河上先生	パステルを削って指で色を塗る癒しのアート体験をしてもらう。
2	9月17日	押し花絵体験 ハガキにデザイン 募集人数 10人 参加人数 4人 自己負担金 1000円	山岸先生	身近な草花を使った押し花の作り方や、様々な素材を使って絵を作成する楽しさを知ってもらう。
3	10月1日	押し花絵体験 ポストカードに花束のデザイン 募集人数 10人 参加人数 6人 自己負担金 0円	山岸先生	
4	10月31日	パステル和 (NAGOMI) アート 秋のイラスト 募集人数 12人 参加人数 14人 自己負担金 500円	河上先生	パステルを削って指で色を塗る癒しのアート体験をしてもらう。
5	11月10日	マクラメ教室 「くみるみちゃん」を作成 募集人数 20人 参加人数 12人 自己負担金 800円	蓮村先生	マクラメという技術を知ってもらい、交流を深めてもらう。

講座・学級学習プログラム

講座名	初心者のためのウクレレ講座		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	延べ28人
講座・学級開設の課題と目標	<p>・ウクレレという楽器に気軽に触れる機会がない。</p> <p>・ウクレレに触れ、コードなど基礎を学び、一曲仕上げることで音楽の楽しみを知る。</p> <p>・ウクレレを通して参加者同士の交流を育む。</p>		
学習期間	令和元年5月	回数	2回
学習場所	研修室、工芸室		
予算	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 500円×10人 決算 内訳：講師料 5,000円 その他の事業費 4,210円	総額： 14,210円 ※うち参加者負担金： 500円×28人 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 4,210円	
講師	井上 栄次さん		
参加者等への指導・援助方法	<p>・参加者が楽しくウクレレを体験できるよう気を配る。</p> <p>・気温が不安定な時期なので、温度調節に気をつける。</p>		
講座・学級開設の成果（課題や目標に対して）	<p>・ウクレレのレソナル数、講師の指導可能者数を考え、講座は1回、定員は10人で広報に掲載したが、40人の申込みを頂き、急遽講座を別日に1回増やした。また講師手持ちのウクレレをお借りし、参加希望者が可能な限り受講できるよう配慮した。</p> <p>・初めにウクレレの持ち方、曲に使用するコードを説明し、実践。講師がユーモアを交え質問に応えながら和やかに、最後は全員で「ルージュの伝言」を弾くことができた。</p> <p>・継続して習いたい希望者が10人以上のため、話し合いを行いサークルが立ち上がった。</p>		
備考			

学習報告

No	月 日	学習主題・内容・方法等	講師	学習のねらい
1	5月23日	ウクレレのコードを学び、「ルージュの伝言」を仕上げる。 参加人数 14人	井上栄次さん	ウクレレに触れ、コードなど基礎を学び、一曲仕上げることで音楽の楽しみを知る。
2	5月29日	5月23日と同内容 参加人数 14人		・参加者同士の交流を育む。

事業活動

事業名	にしふくマルシェ	
対象	一般	
参加人数	261人	
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市には様々な商店やサークルがあるが、詳しい情報を得る機会は少ない。 ・地域住民の高齢化や共働き世帯の増加が進み、ゆったりと買い物を楽しむことが難しい。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市内の商店やサークルが参加するマルシェを開催し、団体を知るきっかけを作る。 ・駅や団地に近く訪れやすいセンターでマルシェをすることで、買い物を楽しむ機会を作る。 	
期 間	令和元年6月	回数 1回
場 所	駐車場、1階ロビー、レクホール	
事業参加者等への配慮等	なし	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市内の商店やサークルに声かけをし、催しの主旨を理解していただき参加をお願いする。 ・最後まで楽しんでもらえるよう、終了間際に抽選会を行う。 	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は4月と10月に開催する予定だったが、統一地方選挙により4月分は5月に開催となり、10月分は台風の影響により中止となった。大きな事業のスケジュール調整の難しさを痛感した。 ・本年度は公募から参加してくださった団体が多く、広がりのあるマルシェになったと思う。 ・まだまだ運営が洗練されていない印象はあるが、来場者は着実に集まっている。 ・今後も回を重ね、誰もが楽しめるマルシェを開催していきたい。 	

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月1日	にしふくマルシェ 手工芸品、飲食物の販売、コンサート 参加人数 261人	様々な商店やサークルが参加するマルシェを開催し地域を活性化する。

事業活動

事業名	ロビーコンサート
対象	一般
参加人数	延べ518人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠方まで出かかない限り、コンサートなどの文化活動に触れる機会が少ない。 ・楽器演奏、踊りなどの学習成果を発表する場は限られている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、定期的にコンサートを開催することにより文化活動に気軽に触れられるようにする。 ・ロビーという比較的柔軟に発表計画を立てられるコンサートの場を提供することにより、学習成果を発表しやすくする。
期間	平成31年4月～令和2年2月
回数	10回
場所	1階ロビー
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサート専用ではない、ロビーという常に行き交う場所での発表であるため、会場についての説明を徹底し、発表に合わせて客席の配置を変えるなどの配慮をする。 ・毎月第3土曜日の午後不定期開催することで、習慣的に来場してもらえないようにする。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体の認定要件を意識して、コンサート中に解説や来場者参加のコーナーを入れる団体が増えた。来場者はより多面的になったコンサートを楽しんでいた様子であった。 ・普段あまり公民館を利用していない団体には、開催の主旨を伝えるのに苦感したこともあった。 ・次年度も各発表団体とよく話し合いながら、みんなが楽しめるコンサートを開催していきたい。
備考	

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月27日	出演者：大正琴水陽会 大正琴演奏 参加人数 48人	出演団体や観客にとつて、気軽に訪れやすいコンサート場の場を作り、文化活動を推進する。
2	5月18日	出演者：オールドレフア ハワイアン カルチャラル ソサエティ フラダンス 参加人数 43人	文化活動を通して人々が集うことで、住民の交流を促進し、地域を活性化させる。
3	6月15日	出演者：キエレ・ピカケ・ティアレ フラダンス 参加人数 53人	
4	7月27日	出演者：ラ・ギターラ ギター演奏 参加人数 53人	
5	8月17日	出演者：ベルエレガンテ チャイム演奏 参加人数 30人	
6	9月21日	出演者：スパイス ギター演奏 参加人数 62人	
7	10月19日	出演者：クレオ ギター演奏 参加人数 62人	
8	11月16日	出演者：ユーカーリアンサンブル アンサンブル演奏 参加人数 40人	
9	12月21日	出演者：女声合唱 響 女声合唱 参加人数 55人	
10	2月15日	出演者：オールドレフア ハワイアン カルチャラル ソサエティ フラダンス 参加人数 72人	

事業活動

事業名	シニアのための健康講座「百歳まで元気に生き抜くための準備」	
対象	一般	
参加人数	50人	
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民がどのような事業を望んでいるのか、見出すことは難しい。 地域の高齢化が進み健康についての関心が高まっている。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体と共催事業を行うことで、市民の意見を取り入れた事業を開催する。 健康的に歳を重ねる方法について学び、地域の高齢化に備える。 	
期間	令和元年 6月	回数 1回
場所	レクホール	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> どのような講座を企画しているのか、主催者とよく話し合いをする 会場設営を職員、主催者が一緒に行うことで個人々に負担をかけすぎずに設営を行えるようにする 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する講義・太極拳の体験・みんなで唱歌を歌うの3つのコーナーで構成されていた。 長めの講座ながら飽きがないよう講師によって工夫されていたと思う。 初めて開催した共催事業であったが、企画内容をよく話し合い順当に実施することができたと思う。 	
備考	白井シニアクラブYuiと共催	

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月15日	<ul style="list-style-type: none"> 今の自分の体を知りましょう 十分間太極拳 みんなで歌おう 参加人数 50人	健康的に歳を重ねる方法について学び、地域の高齢化に備える。

事業活動

事業名	第3回 梨の実コンサート	
対象	一般	
参加人数	109人	
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民がどのような事業を望んでいるのか、見出すことは難しい。 本格的な音楽を直接楽しむ機会は少ない 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民ボランティア団体と共催事業を行うことで、市民の意見を取り入り入れた事業を開催する。 大規模なアンサンブルのコンサートを開催することで芸術に親しむ機会を提供する。 	
期間	令和2年2月1日	回数 1回
場所	レクホール	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 来場者が観賞しやすいように客席のセッティングをする 多数の来場者を受け入れるために、イスやスリッパの用意をする ボランティアと協力し、意見を聞きながら運営を進める 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> タウンシニアアンサンブル「ノービレ」の皆さんによるコンサートを開催した。 昨年のコンサートを覚えていらっしやる方が多く、リピーターが多いようだった。 「もつと座席を増やせないのか」という要望もあったが、センターが保有するイスの数には限りがあるため観客席の配置を考えるなどして、今後は対応していきたい。 	
備考	梨の実ひろばと共催	

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	2月1日	第3回梨の実コンサート 千葉ニュータウンシニアアンサンブル 「ノービレ」によるコンサート 参加人数 109人	市民の意見を取り入れた事業を開催し、楽しんでもらおう。

事業活動

事業名	第32回 西白井複合センターまつり	
対象	一般	
参加人数	延べ1, 440人	
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 西白井複合センター周辺の地域住民が交流する機会が少ない 当館を利用するサークルがお互いの活動を知る機会が少ない <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者から子どもまで楽しめる催しを開催し、地域住民同士の親睦を深める。 各サークルが学習の成果を発表することで、お互いの活動を知り交流を図る。 	
期 間	令和元年 12月7日、8日	回数 1回
場 所	西白井複合センター 全館	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が進んで来場したくなるような楽しい催しになるようにする。 多くの参加者が納得のできる発表を行えるよう話し合い、変更を行う。 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 7日は雨天の影響が大きく、昨年度の半数を下回る来場者数となった。一昨年から行っていたボニー乗馬も中止となり、職員間では雨天でも開催できるイベントを企画した方が良かったのではないかという反省の声が上がった。 調理を行う団体が減少したため、職員が飲食物の販売を積極的に行った。一方で発表や手工芸品販売で新規に参加した団体があつたため、全体としては昨年から2団体増加となった。 反省会では「運営が安定していた」と参加団体から事務局の運営が評価された。次年度も改善を続け地域全体を盛り上げるセンターまつりを開催したい。 	
備 考		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月28日	第1回調整会議 参加者の確認とスケジュール調整 参加者43人	センター利用者の学習の成果を発表する。地域住民の交流を深める。
2	9月29日	第2回調整会議 備品借用の確認と当日の役割分担 参加者44人	
3	12月7日	第31回西白井複合センターまつり 1日目 参加人数440人	
4	12月8日	第31回西白井複合センターまつり 2日目 参加人数1000人	
5	12月15日	西白井複合センターまつり 反省会 参加人数 33人	

事業活動

事業名	ともしびのタベin 白井		
対象	一般		
参加人数	延べ389人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災から令和2年3月で9年が経過し、当時の記憶が風化しつつある。 ・白井市住民の交流をはかる場が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドにロウソクを並べ、東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 ・コンサートを行い、周辺の住民に楽しんでもらう。 ・児童や公民館利用者にロウソクの風よけを作成してもらい、地域住民の交流をはかる。 		
期間	平成31年4月～令和2年3月	回数	17回
場所	西白井複合センター館内、白井駅前広場、池の上小学校、桜台センタ		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大に伴い、公民館職員が請け負える業務を明確にする。 ・実行委員が活動しやすいように情報の共有に努める。 ・実行委員の取り組みたいことが実現できるように、相談先等の情報を提供する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年3月に行っていた「ともしびのタベin サート in 白井」は延期となった。年間を通じて順調に活動を行ってきただけに、メインイベントであるコンサートの中止は大変残念であった。 ・実行委員は次年度を見据え熱心な活動を継続している。活動には慎重であったが、現在人と活動していききたいという意志から、他の団体との連携を深めようと試みている。はまちサボを活用することで、他の団体とのつながりを深めようと試みている。 ・東日本大震災から十年となる次年度、さらに飛躍的な活動が行われることが期待される。 		
備考	ともしびのタベin 白井実行委員会と共催 3月7日に予定されていたともしびのタベin サート in 白井は新型コロナウイルス感染症予防のため延期となった。		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月23日	定例会議 ともしびのタベin 梨の泉の計画 参加人数 4人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示すと共に、地域活性化をはかる。
2	5月24日	ともしびのタベin 梨の泉 白井駅前広場でのとうろう点灯 参加人数 130人	
3	5月28日	定例会議 ともしびのタベin 梨の泉の反省 参加人数 2人 前年度決算報告	
4	6月25日	定例会議 今後のイベント確認 参加人数 2人	
5	7月23日	定例会議 今後のイベント確認 参加人数 2人	
6	8月27日	定例会議 池の上小学校リアル防災スケジュール確認 参加人数 2人	
7	9月21日	池の上小学校リアル防災出展 参加人数 100人	
8	9月24日	定例会議 ともしびのタベin 桜台の計画 参加人数 5人	
9	10月26日	ともしびのタベin 桜台 参加人数 150人	
10	10月29日	定例会議 ともしびのタベin 桜台の反省 参加人数 2人	
11	11月26日	定例会議 西白井複合センターまつり出展の計画 参加人数 4人	
12	12月7日	センターまつり出展 1日目 千葉県台風被災地チャリティバザー 参加人数 5人	
13	12月8日	センターまつり出展 2日目 千葉県台風被災地チャリティバザー 参加人数 4人	

14	12月24日	定例会議 ともしびのタバ in 白井の計画 参加人数 4人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示すと共に、地域活性化をはかる。
15	1月28日	定例会議 ともしびのタバ in 白井の計画 参加人数 5人	
16	2月25日	定例会議 ともしびのタバ in 白井の計画 参加人数 4人	
17	3月26日	定例会議 次年度活動計画 参加人数 5人	

事業活動

事業名	防災講演・講習会		
対象	一般		
参加人数	80人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災について詳しく学ぶ機会が少ない ・ 災害発生時、とっさに地域住民同士が連携を取ることが難しい <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家による講演や講習を通じて、防災について学ぶ ・ 一緒に講習を受けることで、災害時に住民が連携できる関係性を築く 		
期間	令和元年11月	回数	1回
場所	レクホール、駐車場		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いて準備してもらえないよう、会場の使い方を案内する。 ・ やることがわからなくなっている方がいたら声をかける。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震を想定した講演内容を予定していたが、10月の台風被害の影響を受け台風時の対応についても、講師が講演内容に盛り込んでくださった。 ・ 講習では AED の使用方法、簡易トイレの作り方の実演、起震車と煙ハウスによる体験を行った。準備や講習を通して、各自治会が防災をどのように考えているか聞くことができ、いざというときの対策につながったと思う。 		
備考	<p>自治連合会清水口小学校区支部が主催。 日本防災士会千葉県北部支部、白井市市民活動支援課・危機管理課、まちかど防災「減災塾」、西白井複合センターが協力。</p>		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月16日	講演：想定地震とその対応 講習：AEDの使い方等 体験：起震車・煙ハウス 参加人数 80人	事業のねらい 講習を受けることで、災害時に地域住民が連携できる関係性を築く

事業活動

事業名	夏休みスペシャルスタディ		
対象	小学生～大学入学を目指す人		
参加人数	延べ49人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家では集中できず、勉強する場が定まらない子どもたちがいる。 ・勉強がわからなくなったり、相談することが難しい子どもたちがいる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自習ができる場所を提供し、学習の習慣を身に付けてもらう。 ・学習ボランティアに相談することにより、勉強でわからない点を克服する。 		
期 間	令和元年7月～令和元年8月	回 数	10回
場 所	多目的室		
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日がわかりやすいよう、カレンダーを入れてお知らせポスターを掲示する。 ・ボランティアの負担が大きくなりすぎないように、毎回様子を聞く。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・多い日には10人の児童が利用していたが、お盆や夏休み終了間際には誰も利用しない日もあった。今後実施する場合は開催日の設定についても少し考慮したい。 ・学習ボランティアが常駐してくれたことにより、皆集中して学習に取り組むことができたようだった。 		
備 考			

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月24日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 7人	事業のねらい 自習ができる場所を提供し 学習の習慣を身に付けても らう。
2	7月25日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 10人	
3	7月31日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 3人	
4	8月1日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 3人	
5	8月4日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 3人	
6	8月7日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 10人	
7	8月14日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 4人	
8	8月15日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 4人	
9	8月19日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 1人	
10	8月22日	自習と学習ボランティアによる指導 参加人数 4人	

事業活動

事業名	レクホール開放		
対象	18歳以下の子どもとその保護者		
参加人数	延べ75人		
事業の課題と目標	課題 ・児童館は、大勢での運動遊びに適したスペースが足りない。 目標 ・広い部屋で、普段児童館ではできない運動を楽しむ。 ・運動遊びを通じて、異年齢での交流を推進する。		
期 間	令和元年8月～令和2年1月	回数	5回
場 所	レクホール、視聴覚室		
事業参加者等への配慮等	・運動をするにあたり、けがのない様注意し見守る。 ・場所をお互い譲り合って使うよう声かけをする。 ・夏期は室内でも暑いので、水分補給を呼びかける。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・長期休みの定期的な開放の他、児童館の利用者が多く、レクホールや視聴覚室が利用 されていない日にも臨時で開放を行った。 ・特に夏休みは猛暑のため外遊びが難しくかたため、積極的に開放を行った。 ・保護者からも「熱中症の心配がなく安心できる」と好評をいただいたので、今後も児 童館の混雑時は臨時開放を検討していきたい。		
備 考	1月7日の開放日は、レクホールが開いておらず、視聴覚室を開放した。		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月2日	卓球・バドミントン・大縄などで遊ぶ 臨時開放 参加人数 14人	事業のねらい 広い部屋で、運動遊びを楽しむ。
2	8月7日	卓球・バドミントン・大縄などで遊ぶ 参加人数 31人	
3	8月9日	卓球・バドミントン・大縄などで遊ぶ 臨時開放 参加人数 14人	
4	12月26日	卓球・バドミントン・大縄などで遊ぶ 参加人数 13人	
5	1月7日 (視聴覚室)	柔らかなボールで簡単フットサル遊び 臨時開放 参加人数 5人	
6	1月28日	卓球・バドミントン・大縄などで遊ぶ 臨時開放 参加人数 3人	

事業活動

事業名	子ども映画会	
対象	乳幼児～中学生	
参加人数	延べ74人	
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料で親子や小学生がゆくり映画を鑑賞できる場所が少ない。市民の方に映画を上映する場を提供し楽しんでもらう。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の子ども同士が映画鑑賞会を楽しむ中でマナーを知り完成を豊かにする。 地域の子どもが集まり映画の上映を楽しむ。 	
期 間	令和元年8月～令和元年12月	回数 2回
場 所	遊戯室	
事業参加者等への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ゆくり鑑賞できるようにプレイマットをひく。 幼児向けと小学生のどちらにも鑑賞できるように案内をする。 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味がある物を取り入れ映画を通して子どもたちやその保護者が交流する場所作っていきたいと考え構成した。 普段は公民館を利用しない親子の参加もあり、これを機会に慣れ親しんでもらえるように、今後も継続していく。 	
備 考	3月25日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止した。	

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月26日	上映作品 幼児部 はらぺこあおむし 他 小学部 白雪姫 参加人数 50人	地域の子ども同士が映画の上映を 楽しむ中で、マナーも知る。 映画を通して親子の触れ合いを感 じさせる。
2	12月24日	上映作品 幼児部 クリスマスキャロル他 小学部 フランダーズの犬 参加人数 24人	地域の子どもが集まり映画の上映 楽しむ中で、マナーも知る。 映画を通して親子の触れ合いを感 じさせる。

事業活動

事業名	映画上映会		
対象	一般		
参加人数	12人		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・映画館まで足を運ぶというのは、高齢の方や仕事忙しい方にとっては労力のい ることである。 目標 ・映画という娯楽を楽しみたいという方に、映画を観る機会を提供する。		
期 間	令和元年7月	回数	1回
場 所	視聴覚室		
事業参加者等への配慮等	・スクリーンが少し見えやすいように椅子を配置する。 ・席に空間をあげ、移動できるようにする。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・毎年定期的開催している映画上映会である。 ・懐かしの映画とあって、長年見たかただと楽しみにして来られた方もいた。 ・幅広い年齢層に来てもらったが、内容が難しい、字幕が読みづらいとの声もあった ので、内容を精査して上映していくようにしていきたい。		
備 考	3月26日に開催を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止した		

事業報告

No	月 日	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月25日	「雨に唄えば」 参加人数 12人	名作映画を上映することで、教養を高め、充足感を提供する。